「生きづらさ」原因探る

北國健康生きがい支援事業 金沢で金城大プログラム

北國健康生きがい支援事業の金城大プログラムが15日、金沢市の北國新聞20階ホールで開かれた。同大社会福祉学部（同大、本社主催）は、柴田紀子教授が人々が抱える「生きづらさ」の原因を社会環境の側面から解説、周囲との接し方などを提案した。

柴田教授は3人に1人が非正規雇用という貧困の拡大と、2009年度の半数以上が未婚である現在の社会問題を示し、「最近の経済事情が未婚率上昇に影響していると、社会状況と個人の問題が密接に関係していることを説明した。

「生きづらさ」の原因を自分の中だけで見つけようとせず、環境やほかとのつながりという視点から考える大切さを強調。具体例として、子どもが不登校になった場合、いじめや勉強などの直接的原因を特定するのではなく、学校や友達、家族などさまざまな関係を多角的に分析して解決につなげる方法もあるとした。

参加者は柴田教授が用意した「自身の人生図」で、自身の人生に思い出に残る人の名前を書き出し、自身を取り巻く環境を確認した。

柴田教授の講演に聴き入る参加者＝北國新聞20階ホール

リフォーム補助紹介

野々市、住宅展も開幕

家族の笑顔をつくる「ありがとう」リフォーム市づくりをめざす郷住宅展特設会場が15日、開かれ、来場者約230人に住宅リフォームの補助制度や相談窓口（住まいるダイヤル）を紹介した。

国土交通省住宅局住宅生産課の田伏翔一検査係長が住宅ローン減税やリフォーム保険の仕組みについて説明した。

住宅展は、野々市市西部地区画整理事業区域の野々市づくりまちづくり郷住宅展特設会場で開かれ、来場者は